

2011年度(2012年3月期) 本決算説明会

経営現況報告

2012年5月11日

代表取締役社長 久保田 隆



千代田化工建設株式会社

目次

1. 経営概況

- ◆ 2011年度受注実績
- ◆ 2011年度遂行案件
- ◆ 2012年度受注方針
- ◆ 2012年度及びそれ以降期待案件

2. 事業環境の見通し

- ◆ LNG需給予想
- ◆ シェールガスの動向
- ◆ 海外インフラ市場の伸長
- ◆ 低炭素社会関連産業の成長／国内市場構造変化

3. 2012年度の重点施策

1. 経営概況

◆ 2011年度 受注実績

〈海外〉

- オーストラリア イクシスLNGプロジェクトEPC業務
- マレーシア 多結晶シリコンプラントEPC業務(第2期)
- マレーシア LNGプラントFEED*1業務
- イラク 製油所向け加熱炉納入業務
- サウジアラビア/タイ 工業団地向け水・省エネ調査業務
- ベネズエラ 製油所向け重質油処理設備EPsCm*2業務

〈国内〉

- 日本地下石油備蓄(株)/久慈国家石油備蓄基地
東北地方太平洋沖地震による地上施設災害復旧工事
- JX日鉱日石エネルギー(株)/仙台製油所震災緊急対応工事
- (株)UNIGEN/ワクチン原薬製造工場建設工事
- 国内LNG受入基地

*1 FEED (Front End Engineering and Design): 基本設計業務

*2 EPsCm (Engineering, Procurement support and Construction management): 設計、調達支援、建設管理

◆ 2011年度 遂行案件

〈海外〉

- パプアニューギニア LNGプラント
- オーストラリア LNGプロジェクトFEED業務(2件)
- マレーシア 多結晶シリコンプラント(第1期)
- フィリピン ニッケル精錬プラント
- シンガポール 製油所EPCm*1業務(千代田シンガポール社*2)
- サウジアラビア 重質油分解装置
- カタール LNG原料ガス前処理装置

〈国内〉

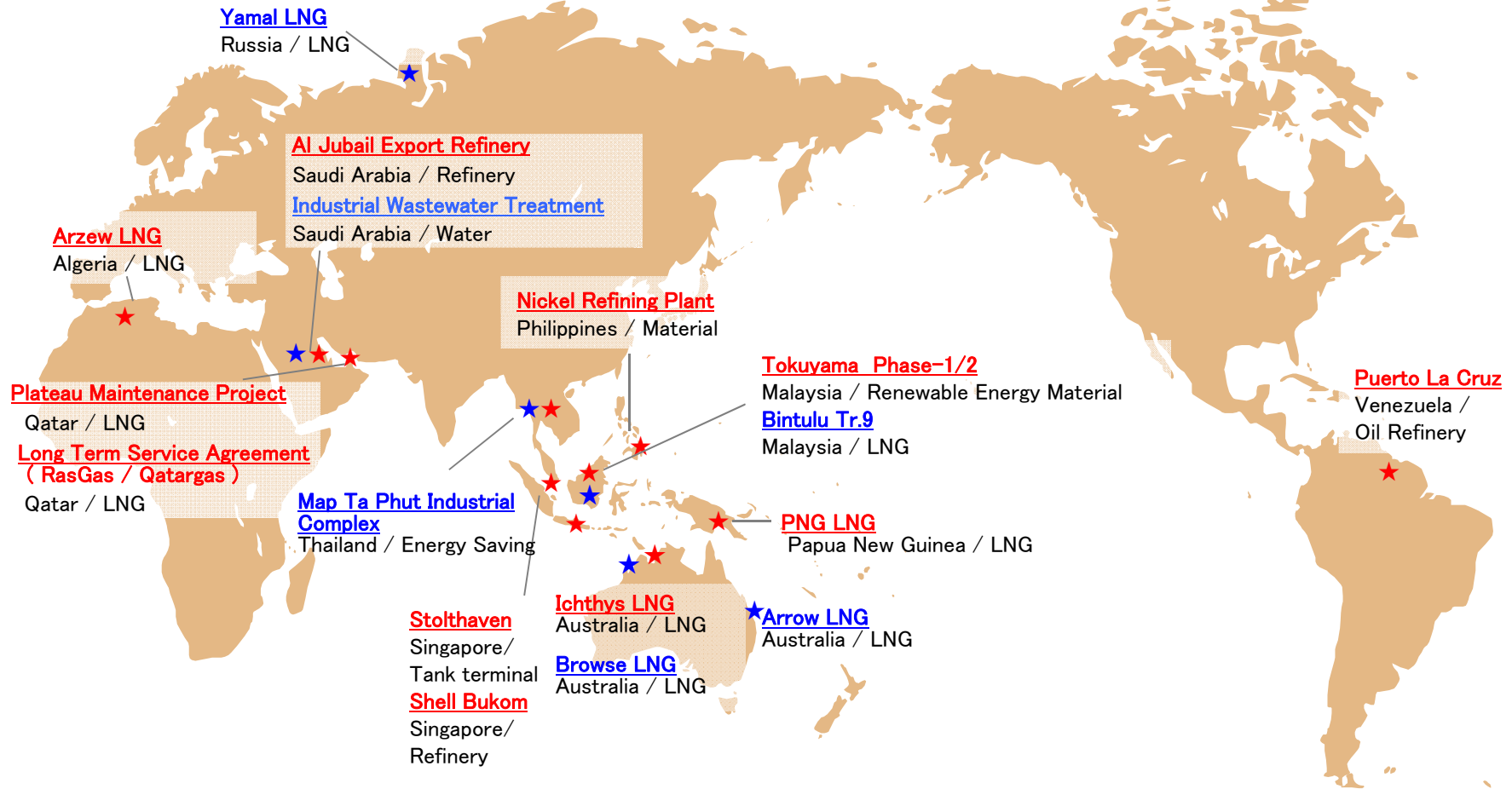
- LNG受入基地建設工事
- 製油所設備改造・更新・省エネ・メンテナンス対応工事
- 医薬品製造施設建設工事

*1 EPCm (Engineering, Procurement and Construction management): 設計、調達、建設管理

*2 千代田シンガポール社: 1971年に設立した当社100%出資の連結子会社

◆ 主な海外遂行案件(2012年3月末)

- ★ EPC / EPCm Execution
- ★ FEED / Feasibility Study



◆ 2012年度 受注方針

(既存分野)

- 2013年度の大型LNGを見据えて複数年度で受注を最適化
- パートナリングを生かして競争優位性を創出
- 国内外グループ企業による取組みの強化

(新規分野)

インフラ, 新エネルギー, ハイドロカーボン新分野

- 事業投資を含めたプロジェクト推進
- パートナーと協業

◆ 2012年度及びそれ以降の期待案件（既存分野）

- ベトナム製油所
- イラク 石油・ガス案件
- 海外LNGプロジェクト
（豪州，東南アジア，アフリカ，ロシア、北米）
- 国内顧客の海外進出案件
- 国内LNG受入基地・化学・医薬品案件
- 海外拠点案件
（千代田シンガポール社、千代田アルマナ社*）

* 千代田アルマナ社： 2008年に設立した当社49%出資の連結子会社

◆ 2012年度及びそれ以降の期待案件（新規分野）

➤ インフラ分野

- 交通分野：鉄道案件、空港案件
- 社会開発／スマートコミュニティ：計画段階からの参画と展開
国内グループ企業を再編し体制整備
- 水事業：産業排水処理・再生を中心とした取組み 投資・O&M
- CTCI社（台湾）と協同の取組み：鉄道、水事業など

➤ 新エネルギー分野

- 太陽光、太陽熱：EPC受注 事業投資も
- 水素事業：事業化に向けた諸準備

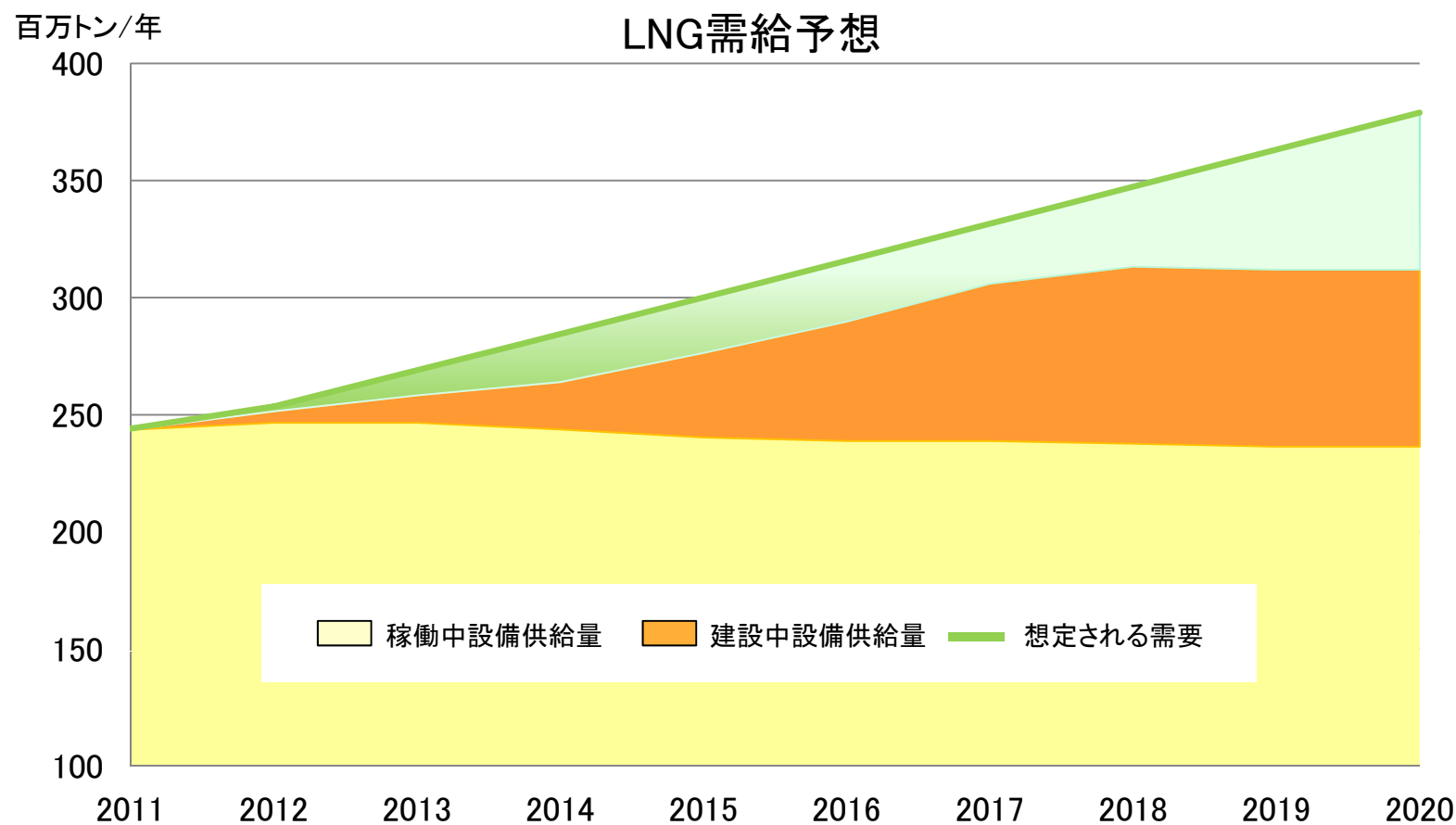
➤ ハイドロカーボン新分野

- 非在来型石油・ガス，Upstream，FLNG，Mini-LNG

2. 事業環境の見通し

◆ LNG需給予想

➤ 需要は震災前予想に比べ増加 将来にわたって拡大基調。



出所: 各種データより当社作成

◆ シェールガスの動向

- 北米のシェールガス輸出が実現した場合の他国のLNG案件への影響
 - ⇒ 米国からの輸出数量は当面限定的、今後を注視
- 米国・カナダにおけるLNG設備建設見通し
 - ⇒ 米 国： 4案件 FEED完了又は実施段階
 - ⇒ カナダ： 3案件 FEED実施又は計画中
- その他の地域(中国、豪州、南米)
 - ⇒ その他の地域での事業化には時間を要す。

◆ 海外インフラ市場の伸長

- 鉄道 2020年の市場規模
 高速鉄道：2兆円
 都市鉄道：20兆円

- 水事業 2025年の市場規模
 上下水道：74兆円
 再生水・海水淡水化・工業用排水：12兆円

出所：経済産業省

◆ 低炭素社会関連産業の成長

- 再生可能エネルギー全量買取り制度開始で国内企業の関連投資が増加
(太陽光発電、太陽電池、多結晶シリコン)

◆ 国内市場の構造変化

- 高付加価値化
(化学・医薬・新エネルギー・スマートコミュニティ)
- 国内企業の海外進出
- 設備老朽化・O&Mニーズ

3. 2012年度の重点施策

◆ 定量目標の達成

- 当期純利益 (150億円): 手持案件の確実な遂行、採算改善、新規受注
- 当期受注 (3,500億円): 2013年度とそれ以降を見据えた受注活動

◆ 競争力強化

- 遂行力強化 + コスト削減 ⇒ 筋肉質な体質
- グローバルオペレーションの推進 (海外拠点・体制整備)

◆ 収益力の向上

- ガスLNG事業分野の受注戦略
- 業務提携先との協業による受注の獲得
- 国内外顧客との更なる関係強化
- 遂行力強化策実施による工事採算の向上

◆ 持続的成長

- 事業投資の推進
- 新規分野の取組推進
- 国内グループ企業の体制見直し、PLE*の取組み
- 国内顧客の海外進出案件対応(海外拠点・体制整備)

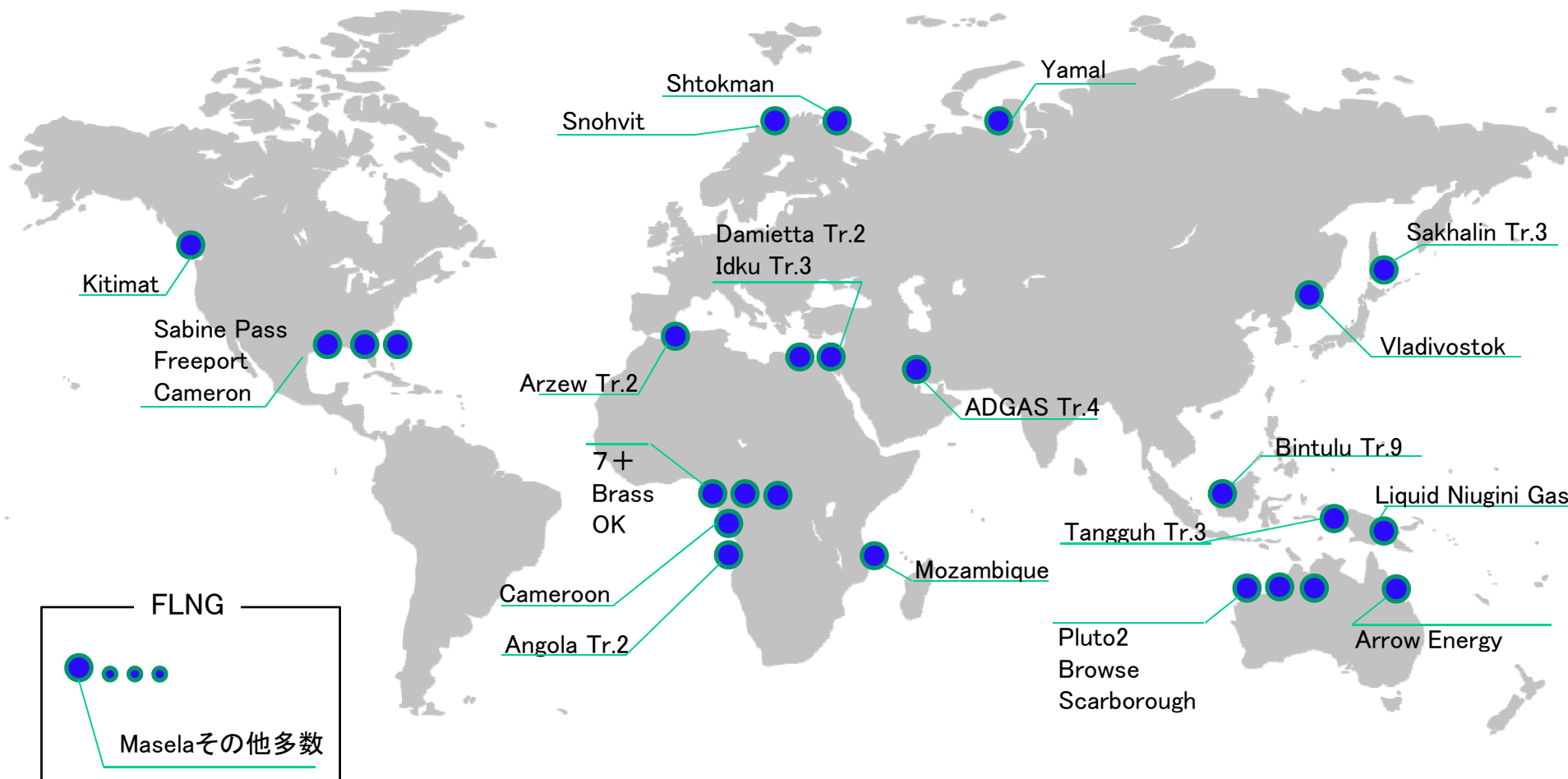
◆ 経営基盤整備

- 連結経営の推進
- グローバル人材の育成、リソースマネジメントの強化
- ビジネスプロセス改革、データマネジメント高度化

* PLE: Project Lifecycle Engineering (プロジェクト・ライフサイクル・エンジニアリング)

参考資料

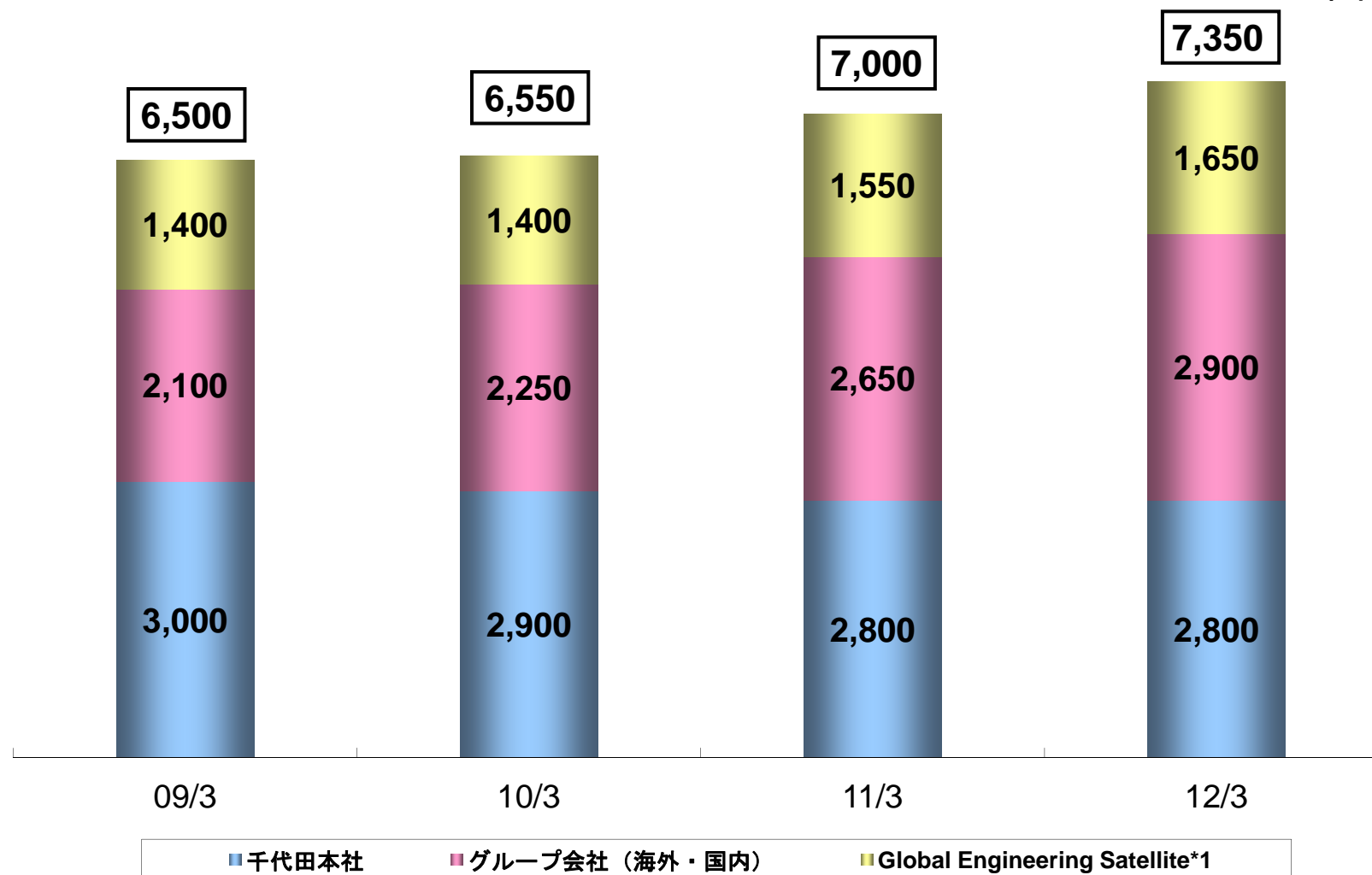
計画中(最終投資決定前)の主要LNG案件



出所: 各種データより当社作成

グローバル要員体制

単位：人



*1: フィリピン、インドの現地設計子会社

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報セクションSL 中山 直行

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号
TEL. 045-506-7538 FAX. 045-506-7085

URL <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

オフィス移転に伴い、6月4日(月)以降は連絡先が以下に変更となります：

〒220-8765 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー
TEL. 045-225-7734 FAX. 045-225-4962

この資料には、2012年5月11日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。